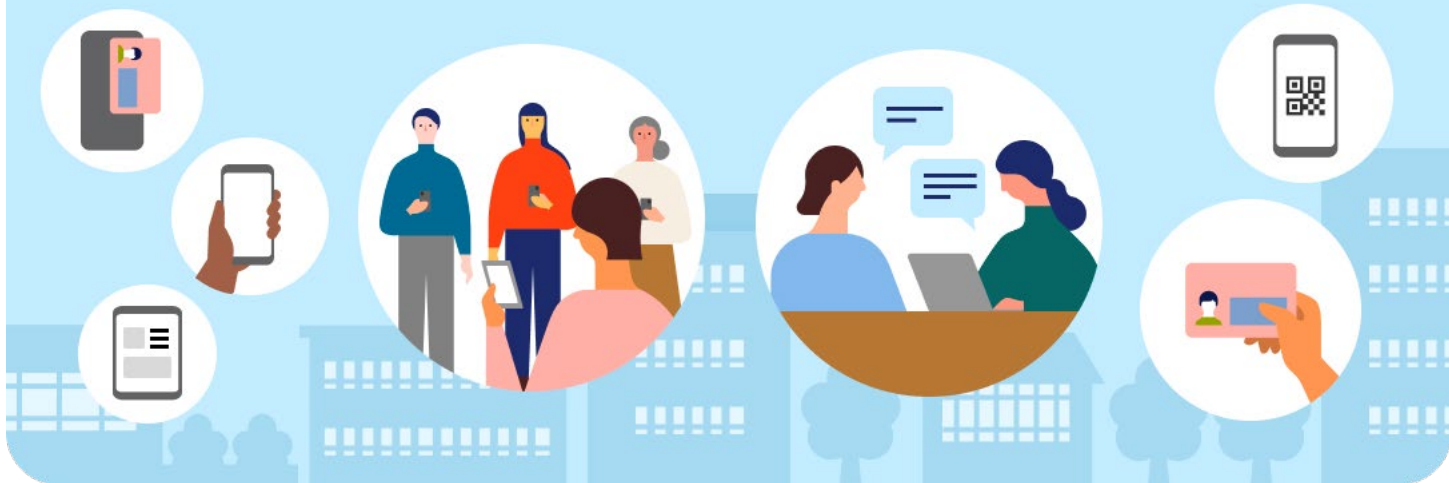


50,000人※1を超える方々がデジタル推進委員として活躍中

# デジタル推進委員募集



※1: 2024年3月末時点

デジタル推進委員は、デジタル庁より任命を受けて  
デジタル機器・サービスに不慣れな方等に対し、講習会等でデジタル利用をサポートします。  
あなたも地域のデジタル社会をつくる活動に参加してみませんか。

## 地域活動の 幅が広がる



さまざまな地域での活動を通じて、  
新たに人やコミュニティとつなが  
るきっかけが広がります。

## 多様な交流の きっかけに



普段はあまり交流を持つことがで  
きない多様な方たちと接すること  
ができます。

## 新たな学びや スキルアップに



サポート活動や研修を通じて、自  
身のITスキルやデジタルリテラシ  
ーの向上につながります。



## オープンバッジ付与

デジタル推進委員になると、デジタル庁からオープンバッジ（電子的な画像による  
バッジ）が付与されます。自己紹介やSNSなどで活用できて推進活動を広げるきっ  
かけになります。

実際の活動事例や応募方法について  
詳しくはウェブサイトで

デジタル庁 デジタル推進委員

検索

[https://www.digital.go.jp/policies/digital\\_promotion\\_staff](https://www.digital.go.jp/policies/digital_promotion_staff)



お問い合わせ  
デジタル推進委員  
サポートセンター

フリーダイヤル

0120-780-325

[平日] 9時30分から18時15分まで

support@digital-promotion-staff.jp

デジタル庁

# ひとりひとりの活動がデジタル社会の力に

デジタル推進委員の活動は多くの楽しさや、やりがいにつながっています。



三好みどりさん  
NPO所属講師

## デジタル推進委員になり責任感が強くなった

デジタル庁のお墨付きとなったことで、『しっかりと伝えないといけない』という責任感が強くなりました。今までは分からないことは「携帯ショップに聞いてください。」と任せていましたが、そんな無責任なことはできないので、日々勉強しなければならないという気持ちが増しました。相談者からの質問は勉強材料になります。

## もっとスマートフォンに不慣れな方の 力になりたい

講師を務めるなかで、高齢者の気持ちを知ることができ、デジタルに不慣れな方が取り残されている実情を身をもって体感しました。多くの高齢者と接していくうちに、『もっとスマートフォンに不慣れな方の力になりたい』と思いました。初めは全くスマホを使えなかった方が、講座の終わり側に上達した姿を見られることはとてもやりがいを感じます。



西田 克幸さん  
通信会社社員



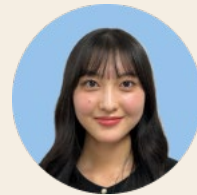
人見 紀彦さん  
鉄道会社社員

## 地域の一員としてデジタルサービスを 普及させるお手伝いができることがやりがい

JR前橋駅では『デジタルよろず相談所』というスマートフォンに関する相談所を駅のコンコースにて月に1回程度開催しています。鉄道に関わるデジタルサービスを中心に対面でお話することで「スマートフォンにこんな機能があったの？」と初めて知って喜んでいただける瞬間に、デジタル推進委員として活動している大きなやりがいを感じています。

## 高齢の方と交流ができて 自分も楽しい時間を過ごすことができる

アルバイト仲間である高齢の方にデジタル端末の使い方を教えたことがあり、ちょっとしたやりがいを感じたことが参加したきっかけです。スマホ教室では学生生活ではあまり交流を持つことができない高齢の方とも会話をすることができて自分自身も楽しい時間を過ごせています。また、感謝の言葉をかけてくださることも多く、前向きに取り組んでいます。



伊藤 かりんさん  
大学生